

EWA 社 BlackhawkUSB₅₁₀ TI 社 Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 15 版 2010.2



ROINOS 

株式会社 ロイノス 開発ツールグループ

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

目次

1. まえがき	1	6.1 CCS Ver3.x の場合	4
2. システム要件	1	6.2 CCS Ver2.2 の場合	5
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	6.3 CCS Ver3.0 の場合	5
4. 梱包内容	2	6.4 ロイノス編集 CD の場合(CCS Ver3.3)	6
5. Code Composer Studio インストール	2	6.5 アンインストール	6
5.1 CCS Ver3.3 の場合	2	7. BlackhawkUSB の認識	7
5.2 CCS Ver3.2 の場合	3	7.1 認識(Windows xp SP2 の例)	7
5.3 CCS Ver3.1 の場合	3	8. CCS セットアップに関する役立つ知識	8
5.4 CCS Ver3.0 の場合	3	8.1 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) ...	8
5.5 CCS Ver2.2 の場合	3	8.2 DSK、eZdsp 用のパッチ	8
6. デバイスドライバのインストール	4	8.3 マルチコアプロセッサについて(CCS	

Ver2.x)	8	11.11 C672x の場合(EVM 6727 の例)	28
8.4 マルチコアプロセッサ(CCS Ver3.1 以降)	8	12. 汎用的ボードの具体的設定(CCS2.x,3.0 の例)	28
8.5 マルチプロセッシング	9	12.1 DSK C6713 の場合	28
9. Setup CCS の設定	9	12.2 DSK C6416 の場合	28
9.1 CCS Setup Ver3.3 の例	9	12.3 EVM 6701 / 6201 の場合	29
9.2 CCS Ver3.2 の場合	10	12.4 EVM DM642 の場合	29
9.3 CCS Setup Ver3.1 の場合	10	12.5 DSK C5416 の場合	30
9.4 CCS Setup Ver2.x,3.0 の例(Non Legacy)	10	12.6 DSK C5510 の場合	30
9.5 CCS Setup Ver2.x,3.0 の例(Legacy)	11	12.7 eZdsp F2812 の場合	30
9.6 CCS Ver3. x の場合	13	12.8 eZdsp LF2407 の場合	30
9.7 CCS Setup の import による設定(CCS Ver3.1 以降)	13	12.9 OMAP5912 OSK の場合	31
9.8 CCS Setup の import による設定(CCS Ver2. x ,3.0)	14	13. VC33 の場合	31
10. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.3 の例) ..	15	14. 故障対応	32
10.1 DSK C6713 の場合	15		
10.2 DSK C6416 の場合	15		
10.3 EVM DM642 の場合	15		
10.4 EVM 6201 / 6701 の場合	16		
10.5 DSK C5416 の場合	17		
10.6 DSK C5510 の場合	17		
10.7 SR-MK2 の場合	18		
10.8 eZdspF2812 の場合	18		
10.9 eZdspF2808 の場合	18		
10.10 eZdspLF2407 の場合	18		
10.11 eZdspF28335 の場合	19		
10.12 OMAP5912 OSK の場合	20		
10.13 EVM DM6437 の場合	21		
10.14 DSK C6455 の場合	21		
10.15 EVM DM6446 の場合	22		
10.16 C672x の場合(EVM 6727 の例)	22		
10.17 EVMDM355 の場合	23		
10.18 OMAP3530 の場合	23		
11 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.1 の例) ..	25		
11.1 DSK C6713 の場合	25		
11.2 DSK C6416 の場合	25		
11.3 EVM DM642 の場合	25		
11.4 EVM 6201 / 6701 の場合	26		
11.5 DSK C5416 の場合	26		
11.6 DSK C5510 の場合	26		
11.7 eZdspF2812 の場合	27		
11.8 eZdspF2808 の場合	27		
11.9 eZdspLF2407 の場合	27		
11.10 OMAP5912 OSK の場合	27		

1. まえがき

EWA 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。

システムの特徴は次の通りです。

- ▲ Windows xp/2000/98/ME 上での実行。
- ▲ C6000,C5000,C2000,OMAP,VC33 の JTAG ファミリーのエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 1V から 5V までのターゲット I/O 電圧に自動対応

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

2. システム要件

本書は、EWA 社のエミュレータ BlackhawkUSB と TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は次の通りです。

- ▲ CCS Ver2.2 以降、VC33 のみ CC Ver4.1(SP2)

注意 CCS をご使用になる際、CCS のアップデートアドバイザー機能を利用して、最新の修正パッチを入手できるようにしておいてください。ロイノスでも CCS のサポートの期間延長の手続きを承っておりますのでご利用下さい。

- ▲ Windows xp/2000/98/Me

CCS 2.2 では Windows me のサポートははずれた様です。CCS3.0 以降は Windows2000/xp で動作します。詳細は TI にご確認下さい。

- ▲ USB 1.0, 1.1 , USB2.0 ポート 1 個

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけないように**お願いします。**JTAG ケーブルで POD 本体をぶら下げて使用すると JTAG ケーブルの痛みが非常に早くなりますのでおやめ下さい。**

ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないよう

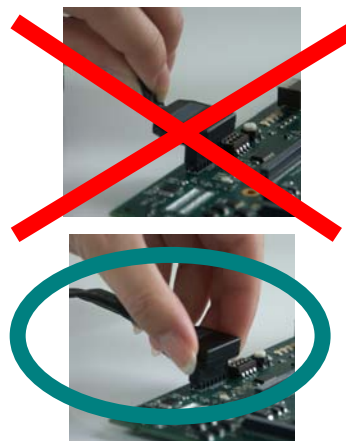
にして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは **POD とは別に導線で常時接続**することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償の修理となります。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有償にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまみではずすようにしてください。



(使用した写真のコネクタは BlackhawkUSB ではございません)

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがある事をお確かめ下さい。

- (1) マニュアル 本書および英語のマニュアル
- (2) ドライバ CD (メーカー提供)

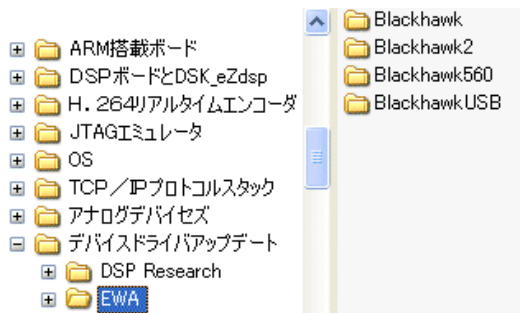


- (3) ロイノス提供 CD(付属していない場合もあります。)



必要に応じてデバイスドライバをこの CD-ROM でご提供しています。

2010年1月現在の最新のドライバが入っています。



- (4) エミュレータ本体



- (5) USB ケーブル



5. Code Composer Studio インストール

CCS をインストールしていない場合はインストールします。CCS をすでにインストールしている場合、本章は読み飛ばしてください。

いずれのバージョンにおいても、TI の web にアクセスし、ユーザー登録およびサービスコードを登録してアップデートアドバイザー機能が利用できるようにしてください。アップデートアドバイザー機能によって、今後必要になるであろうアップグレードソフトを入手できるようになります。TI ではこれをサービスリリース(SR)と読んでいます。

注意 Windows 2000, xp の場合、インストールは管理者権限でおこなってください。

注意 インストール時はウイルスチェックソフトの動作を停止させるか、アンインストールしておいてください。

5.1 CCS Ver3.3 の場合

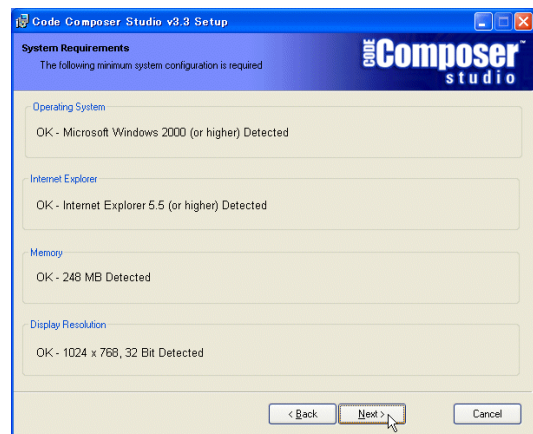
使用できる OS は Windows 2000 か xp あるいはそれ以降のものとなります。

CD-ROM を CD ドライブに挿入し、画面の指示に従って順次作業をしてください。

- (1) Welcome to ... では **Next>** をクリックして下さい。



- (2) System Requirements 画面では PC に必要に資源があるかどうかチェックされます。**Next>** を押して下さい。もし十分な資源が無い場合には、その部分が赤く表示されますので、解決してからもう一度実行して下さい。



- (3) License Agreement 画面では、ライセンスに同意する場合、I accept ... を選び **Next>** をクリックして下さい。